

平成 25 年 6 月 28 日
一般社団法人全国銀行協会

全国銀行の平成 24 年度決算の状況(単体ベース)

<要 旨>

1. 経常利益

経常収益は、資金運用収益が減少したものの、投資信託販売手数料等が増加したことにより、役務取引等収益が増加したほか、国債等債券売買益等が増加したことにより、その他業務収益が増加したこと等から、15兆4,639億円（前年度比267億円、0.2%増）となった。

経常費用は、資金調達費用が減少したほか、株式等売却損等が減少したことにより、その他経常費用が減少したことに加え、営業経費が減少したこと等から、11兆4,806億円（同1,393億円、1.2%減）となった。

この結果、**経常利益**は、3兆9,833億円（同1,660億円、4.3%増）と4年連続して増益となった。

2. 当期純利益

当期純利益は、法人税等が増加したものの、法人税等調整額が減少に転じたこと等から、3兆311億円（同5,499億円、22.2%増）と増益となった。

3. 業務純益

業務純益は、4兆9,999億円（同333億円、0.7%減）と4年ぶりに減益となった。

(注) 平成 24 年度決算における**全国銀行**とは、都市銀行 6 行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな）、地方銀行 64 行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）41 行、信託銀行 4 行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の 117 行である。